

1 本園の教育目標

心身共に健康で、自立できる子供に育てよう  
 \*心豊かな子 \*たくましい子 \*元気に遊ぶ子 \*自分を大切にする子  
 \*友達も大切にする子 \*気持ちを素直にあらわす子

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

つながろう!クラスの垣根を越えて~異年齢で交流できる遊びや環境設定を考え、園全体で子供の成長を見守る~

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目の達成及び取組状況	結果	理由
努力目標において	B	子供の興味関心や刺激となるような、異年齢での保育を行う場を意識して設けるようにした。
防犯・防災の意識を高める	B	毎月行う避難訓練を通して、子供達が自分の命、友達の命を守る行動を、身につけていった。職員は、想定や役割を替えて訓練することで、臨機応変に対応ができるように備えた。
教育保育内容の充実と行事の精選	B	子供達の普段の遊び、興味あることを膨らませながら、日々の生活の延長から行事へとつなげて行くようにした。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	異年齢での遊びの場、機会を設け、憧れや自分より年下の友達に対しての接し方を身につけられるようにしながら、異年齢でのふれあいを楽しむことができるように努めた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
環境整備	令和8年度と9年度の2か年で大きな工事が行われる。工事により、生活環境が狭まるので前後の期間で、子供が自然とかわることができる遊びを保障する。
保育内容の充実と行事の精選	一人ひとりの日々の遊びを大切に環境設定を行い、遊びの延長にある行事となるように、さらに創意工夫をする。
人権教育	自分が好き・友達が好きと思う気持ちを育めるよう、自分の思いと友達の思いを相互に受け止め合いながら、園生活をつくっていくことができるように、職員が人権意識を高くもって教育保育を進める。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である